

平成 30 年度第 2 回 図書館利用者懇談会記録

名 称	平成 30 年度第 2 回 図書館利用者懇談会
日 時	平成 30 年 11 月 16 日 (金) 午後 6 時 30 分から午後 8 時 30 分まで
会 場	中央町社会教育館 第 3 研修室
出席者	18 人 内訳 利用者 9 人 区側 (図書館・事務局) 9 人 八雲中央図書館長、庶務係長、事業計画係長兼大橋図書館長、運営担当係長兼緑が丘図書館長、資料係長兼目黒区民センター図書館長兼守屋図書館長、サービス係長兼目黒本町図書館長兼洗足図書館長、貸出・予約係長兼中目黒駅前図書館長、事務局 (庶務係員 2 名)
懇談会次第	1 開会 2 八雲中央図書館長挨拶 3 利用者懇談会テーマ「特色ある書架づくり」 4 その他 事務局からのお知らせ等 5 閉会
配付資料	資料 1 平成 30 年度第 1 回 図書館利用者懇談会記録 資料 2 平成 30 年度第 1 回 図書館利用者懇談会アンケート結果 資料 3 アンケート用紙

主要な発言

1 開会

2 八雲中央図書館長挨拶

本日は、夜分遅い中、図書館利用者懇談会にご参加くださりましてありがとうございます。この懇談会は、区立図書館を利用させていただいております方々にお集まりいただきまして、皆様の声を事業運営に反映させていく趣旨で開催しております。これまでも毎年度 3 回程度、懇談会テーマを決めて行なっているところです。今回は、平成 30 年度の 2 回目で、テーマは「特色ある書架づくり」です。活発な意見交換ができたらと思っておりますのでよろしくお願いします。

(職員自己紹介・配付資料確認)

3 利用者懇談会テーマ「特色ある書架づくり」

図書館 懇談会テーマに入る前に、今回初めて参加されたかたもいらっしゃいますので、これまでの図書館の運営背景や資料について貸出・予約係長から、資料の収集について資料係長からご説明いたします。

貸出・予約係長 これまでの目黒区立図書館はつぎのことに着目し運営を行なってきました。

○全 8 館の資料を一元的に管理し効率的に運用する。

図書館ホームページから比較的簡便に資料の予約ができるようにし、資料を移送するための配本車の整備を行うことで、図書館規模にかかわらずどの館でも均質なサービスを提供できるようにしました。

○資料を所在館方式で運用する。

所在館方式は、平成2年（図書館情報システムの導入）から取り入れました。所在館方式とは、資料を目黒区立図書館全体の蔵書として捉え、特定の館の蔵書としないというものです。資料は返した図書館の蔵書となり、貸出しを行なった図書館へは戻らないこととなります。各図書館で同じ資料を揃えることなく、いろいろな観点から幅広い資料を目黒区立図書館全体として収集することができます。

一方、図書館へ行っても資料がない場合は、予約して取り寄せなければならず、手続きが増えてしまいます。そのため、貸出返却以外のことは資料相談カウンターへご案内することで、資料の検索や予約の補助、住所変更など、特別な調べものの相談だけでなく、利用者みなさんに気軽に声をかけていただけるようにしました。

図書館 続いて、資料の収集について、辞書や雑誌等の例を挙げながら、資料係長より説明いたします。

資料係長 辞書の例についてご説明します。辞書は、目黒区立図書館資料収集方針の規定による目黒区立図書館資料別選定基準に基づき幅広く収集するように努めています。

日本語の辞書は、記載内容が頻繁に変わるものではないため、長期間改訂版が出版されることはありませんが、改訂版が出版された時は購入しております。広辞苑は、約10年ぶりに改訂版が出版され、全館で閲覧できるよう配置しました。

英語やフランス語以外の辞書は、出版点数が少なく高額なものも多いため、利用の実態等も判断して適宜収集することにしていきます。外国語の場合、辞書だけでなく会話や文法といった資料についても収集に努めていきたいと考えています。

雑誌の収集についてご説明します。雑誌も、先程の辞書と同様に、目黒区立図書館資料別選定基準に基づき収集しています。選定は年に一回のため、次年度の購入について、利用者の皆さんの要望などから、分野のバランスや金額などを考慮して、職員が選定を行い決定しています。

新規購入開始は年度当初のみで、年度途中からは行っていません。鉄道関連、建築関連など古くから収集している雑誌は、かなり傷んでいるものもありますが、今後も長く読んでいただくために、返却時に点検し、修理を施すなど努力しています。

雑誌は情報の速報性があり、また時代を反映しているものでもあるため、利用の要求が高いものと考えています。多様化する情報にアクセスするためのひとつのツールとして、今後も幅広く収集するように努めていきたいと考えています。

新聞につきましても、朝日新聞などの一般紙、スポーツニッポンなどのスポーツ紙を合わせて22紙、外国語新聞は7紙を収集しています。また、今年度から、子どもたちの読書活動推進を図る一環として、全館において何れかの小中高校生向けの新聞を閲覧できるよう配置しました。

図書館 辞書や雑誌について説明をいたしましたが、日頃図書館を利用して感想やお気づきの点がありましたら、お聞かせください。

利用者 中目黒駅前図書館では、週刊ポスト、週刊現代、週刊文春ともう1誌くらいしか週刊誌がないし、新聞も設置数が少なく、産経新聞や毎日新聞もありません。中目黒駅前図書館は区立図書館の中で利用者数が2番目なので、雑誌や新聞をもっと充実させてほしいと思います。また、かつての中央館だった守屋図書館には、産経新聞を含めた全国紙

7紙を置いてほしいです。そのような中でも目黒本町図書館は、雑誌のタイトルも充実しているように思います。

利用者 雑誌の最新号は次の号が出るまで借りることができないのですが、全館でその表示が統一されていないため、わかりやすい表現に統一してほしいと思います。以前、図書館スタッフに「注意書きは棚に書いているから」と案内されたこともあります。それではわかりにくいのもっと表示を工夫してほしいと思います。

利用者 ある記事を検索すると雑誌にしか載っていなかったもので、その雑誌を借りようとしたところ、目黒区では既に除籍済でした。廃棄する基準を教えてください。本屋にも無い、図書館へ行けばあるというのが図書館の大きな価値なので、雑誌の廃棄基準を知りたいと思いました。

図書館 雑誌は保存期限を決めています。ご要望のあった雑誌が除籍されてしまった場合には、目黒区民の方が対象ではありますが他自治体の所蔵を調査し取寄せています。目黒区だけしか所蔵していない雑誌については長期間保存するようにしていますが、保存スペースも限られているため、おおよその雑誌は保存期限を決めています。

利用者 他区の所蔵ともバランスをとっているということですか。貸出し頻度も参考にしていますか。

図書館 雑誌ごとに週刊誌なら3ヶ月、月刊誌は2年、隔月刊誌なら5年など決めています。年度ごとに雑誌目録を作成して、購入している雑誌のタイトル、保存期限、所蔵館を館内や図書館ホームページでご覧いただけます。

過去に、近隣自治体同士で長期に保存する雑誌を分担保存することを決めました。この対象の雑誌については、長期保存をしております。

図書館 目黒区は、所蔵館方式ではなく所在館方式を取っており、資料を館に固定していないため、一つの館で同じタイトルの雑誌をまとめて見ることはできませんが、多くのタイトルの雑誌をご覧いただくことができます。所蔵館方式と所在館方式のメリット、デメリットについて利用者みなさんがどのように感じてご利用になっているのかご意見をお聞かせください。

利用者 目次の検索はできますか。

図書館 今は、データも豊富になっており、目次や特集記事のキーワードでも検索ができます。

利用者 「雑誌の最新号は貸出しできない」と表示がされていますが、次の号が入れば前の号は貸出しができるわけですね。

図書館 そのとおりです。

図書館 ここで、雑誌の最新号の予約のしくみについてご説明させていただきます。目黒区では、予約の公平を図るため、新刊雑誌の予約は、貸出しが出来ない間にエントリーという形で受け付け、次の号を受け入れて最新号が貸出可能となった段階でコンピューター抽選により予約の順番を決めています。抽選が終わった後は、先着順に予約を受け付けます。この新刊雑誌の抽選予約については、区民の方のみ利用が可能です。抽選予約を導入してからかなりの年数が経過していますが、このしくみをご存知でない方もまだ大勢いらっしゃると思います。是非ご利用ください。

図書館 ここまで、雑誌や辞書についてお話をさせていただきました。続きまして、児童書について、サービス係長より説明をさせていただきます。

サービス係長 区内のどの図書館にも児童コーナーを設けており、乳幼児と保護者を含め子どもたちがゆっくり読める環境を作っています。児童書の中には絵本や物語、分類の本があります。児童書の場合、新刊は2冊をベースとして購入しています。購入後に予約が入ったもの、または、これから予約が入りそうなものについては、冊数を増やしています。なるべく、来館した館に読みたい本があるよう配慮し、同一タイトルの購入上限冊数も一般書に比べ多くなっています。初めから8館分8冊購入しない理由としては、限られた予算の中でたくさんのタイトルを児童に手に取ってもらいたいということからです。また、平成29年度に指定寄付金として70万円の寄付をいただきました。この寄付金と資料費を合わせ、貸出が多い絵本を全館に置き、多くの方にご覧いただくということを目的として50タイトルを15セット購入しました。各館に閲覧用1セット（計8セット）、施設改修中の緑が丘図書館を除く7館に貸出用1セット（計7セット）を配置しました。50タイトルなので少ないのですが、利用者の方からは、「こんな本もあるのね」、「今まで貸出中で読むことが出来なかった本が読めてよかった」などの声が寄せられています。

図書館 児童書の中でも今回は絵本について、ご意見がありましたらお願いします。

利用者 寄付金で購入したものだけを所蔵館方式としていますが、児童書に関して言えば、特に絵本は、所蔵館方式にしてほしい。私は守屋図書館で絵本の読み聞かせボランティアをしています。読み聞かせる優れた絵本を集めるのに毎回苦労しています。また、寄付金で購入した本のリストを見ましたが、貸出しが多い本が優れた本とは限らないと思います。リストを見てがっかりしました。地域文化の水準を上げることについて図書館の仕事として意識がありますか。貸出しベストテンは何の意味もないことだと思います。

利用者 貸出冊数が20冊というのは、親子で借りる場合には、それぞれが20冊までということでしょうか。読み聞かせる絵本がなくなるのは、貸出冊数が多すぎるのが原因なのではないでしょうか。

図書館 図書館システムが導入される前は、各館ごとに冊数が決められていました。システム導入当初は、上限70冊でしたが、30冊になり、現在の20冊となりました。

利用者 平均貸出冊数はどのくらいですか。

図書館 貸出冊数の上限を変更するときに調査をしましたが、その当時の調査では、5～10冊の方が比較的多かったと記憶しています。調べもので図書館を利用している方は貸出冊数も多いですし、まとめて借りてまとめて返す方も冊数が多くなります。こまめに図書館へ来られる方は、毎日2冊ずつなどの利用になりますので、数字の捉え方は難しいです。一度に20冊以上借りていく方は、それほど多くなかったと思います。

図書館 ほかに絵本についてご意見がなければ、今回のテーマである「特色ある書架づくり」へと移ります。今年度は各館でオリンピック、パラリンピックに関するテーマ展示を行なっておりましたので、まずそのことについて事業計画係長よりお話をさせていただきます。その後、貸出・予約係長から特色ある書架づくりについて説明させていただきます。

事業計画係長 東京都公立図書館館長会では、都内公立図書館全体で「東京でおもてなし56年ぶりの夢」と共通タイトルを設定し、東京2020大会を念頭に資料展示を行なうこととなりました。目黒区でも「東京」「おもてなし」「56年ぶり」の3つをテーマに資料を集め全館で順次展示を行なっております。一例ですが、守屋図書館では、昔の選手

を取り上げることで、知っている人には懐かしく、知らない人には新鮮さを感じてもらえる選書を心がけた展示を行い多くの方に利用していただきました。目黒区においてこのような全館共通のテーマ展示は、一定の成果が得られたものと考えております。

貸出・予約係長 特色ある書架づくりについて、お話をさせていただきます。目黒区では所在館方式を取っており、区内にある本を取り寄せて利用していただくために、なるべく予約手続きが簡便にできるよう努めています。しかし、検索機での検索ができなかったり苦手だったり、予約してまでも借りたくないという方も多くいらっしゃいます。ベストセラーはさておき、児童書や基礎的な本、新書などはもう少し複本を増やしてもいいのではないかと考えていますが、いろいろなタイトルの本を集めるというのは目黒区の特徴でもあるので、そこを一気に変更することは難しい状況です。

平成2年から所在館方式で運用してきましたが、八雲中央図書館が出来たときに、「公開書庫」の本については本が戻ってくる仕組みを取り入れました。大橋図書館の「花とみどりのコーナー」も同様にこの仕組みを取り入れました。ここで特色ある書架づくりを考えるうえで「どの図書館にどんな本を集めるのか」、「どうしたら皆さんが手に取ってもらいやすいのか（サインやテーマ展示等）」などご意見をお聞かせいただけたらと思います。

利用者 各図書館の特色を出すということですか。

図書館 例えば、目黒通りはインテリアストリートと呼ばれているので、目黒区民センター図書館や目黒本町図書館では、インテリアの本を集めたらどうかなど、それぞれの図書館のコーナーづくりのアイデアをお聞かせいただけたらと思います。

利用者 各図書館の特色を考えたときに、以前から担当館として位置づけられている「目黒本町図書館は障害者サービス」、「緑が丘図書館は児童書」をテーマにするのいいのではないかと思います。目黒本町図書館には障害者関係の雑誌も置いてありますが、私は、この雑誌を返却するときは、目黒本町図書館にまともっていた方がいいと思うので、意識して目黒本町図書館へ返却していました。しかし、ある時、用事があって目黒本町図書館に返却できないことがあり、その際にカウンタースタッフに目黒本町図書館へ戻してほしいと伝えたところ、「この雑誌は返したところの所蔵になるので送らない」と言われました。担当館として位置づけられている関係の雑誌は、その館に集めた方がいいと思います。また、絵本が予約しないと借りることが出来ないという点については、全体的に資料が足りないのではないかと思います。しかし、限られた資料費の中で、児童書を増やしたら一般書が少なくなってしまうこととなりますので、資料費を増やすことも考えてほしいし、レファレンスの質の向上も大切なことだと思います。

利用者 今後、各館にこのタイトルの絵本は必ず置いたほうがいいという本の選書をする際に、私たちに声をかけてもらいたい。こちらで作成した本のリストをたたき台にさせていただきたいと思います。

利用者 各館用にたくさん買ったとしても、返す館の所蔵となるのであれば、これまでどおり予約して取寄せることになるのではないですか。

利用者 同じタイトルの本がたまってしまったときは、各館のスタッフや職員が在庫のない館へ送ることで対応すればいいと思います。

利用者 先ほど、児童書は絶対的に冊数が足りないとおっしゃった方がいますが、私は、冊数は足りていると思います。どうでもいいと思う本が多すぎるのが問題だと思います。

- 利用者 どうでもいいと思う本は、どういうものですか。
- 利用者 これを公立図書館の使命というのか、出版社の言いなりになって買っていると思われる本が多すぎると思います。冊数が多ければいいという問題ではないと思います。
- 図書館 児童書については、こども本人が選ぶものと大人が選ぶものがあります。図書館としては、図書館側がいい本だと決めるものではないので、選択肢を多くすることが公共図書館の役割の一つと考えます。
- 利用者 図書館に司書が置かれていないから、図書館が本を選べないのだと思います。
- 図書館 ほかのご意見もあればお聞かせください。
- 利用者 目黒区の図書館にない本は、他自治体の資料も利用ができます。
- 図書館 たくさんのご意見ありがとうございました。基本方針のテーマの実現に向けて皆様のご意見を反映させながら進めていきたいと思っております。基本方針を作成した運営担当係長にまとめてもらいます。
- 運営担当係長 基本方針の重点的な取り組みとして、「知・文化の拠点となる」、「交流の場と暮らしの情報の提供により生活の質を高める」、「区民・利用者一人ひとりの役に立つ」、「子どもたちを本の世界へいざなう」、「地域とつながる」という5つの項目を掲げています。蔵書の持ち方については、これまで行なってきた所在館方式を継続しつつ、一部児童書等の検討が必要であるのご意見をいただきました。また、蔵書の中身、コーナーのつくり方、複本の充実などのご意見も参考にさせていただいて今後の図書館サービス、事業の展開に役立てていければと思います。
- 図書館 基本方針が平成29年4月に策定されたこともあり、平成2年から継続して行なってきた所在館方式についても一旦立ち止まって振り返り皆さんと一緒に考えて行きたいと思っております。このテーマについては、今後も折をみて皆さんにご意見を伺いたいと思います。

#### 4 その他

- 図書館 今回のテーマ以外でご意見などありましたらお聞かせください。
- 利用者 守屋図書館と目黒区民センター図書館はひさしがないので、雨や風が強いときは、扉の中に入って待たせてもらいたい。
- 図書館 ご意見として伺います。
- 利用者 目黒区民センター図書館が入っている区民センターの見直しの検討はどの段階までしているのでしょうか。図書館は区民センターの中に入るのかどうか決まっていなくて心配です。
- 図書館 区民センターは、区有施設の中でも特に施設の老朽化が進んでおり、今年度から関係する所管の部課長で専門組織を立上げて会議が行なわれています。八雲中央図書館長もその一員です。検討している段階ですので、まだ申し上げられません。図書館のあり方については、必要の都度、利用者懇談会の場を通じてお話させていただきたいと考えています。
- 利用者 新しく大橋図書館を作ったときに、施設管理は北部地区サービス事務所ということで利用者懇談会の意見をうまく伝えることができなかつた経緯があります。「まだ図書館を検討する段階ではないから」と、その時機を待っているのでは手遅れとなってしまうの

で、検討前から図書館として準備しておくことが必要なのではないかと思います。

図書館 ほかにご意見があれば、お聞かせください。

利用者 所在館方式の評価という点で、児童書（特に絵本）の所蔵館方式を検討してほしい旨を先ほど申し上げました。今度の検討に入れていただけますか。

図書館 ご意見は、受け止めました。

閉会（八雲中央図書館長）

約2時間に渡り懇談していただきました。皆さんからのご意見は、今後の図書館運営に活かしていきたいと思っております。本日は、ありがとうございました。

以上 午後8時30分 閉会